



# ミッションクリティカルなアプリケーションのために データ可用性を向上

HPE 3PAR StoreServ と Veeam Backup & Replication

# データ保護を効率化しながら、コスト、リスク、および複雑性を軽減。

## ソリューションの主なポイント

### 信頼性の高い仮想環境の実現

HPE 3PAR StoreServ は Veeam Backup & Replication と緊密に統合されて、仮想環境に適した包括的なデータ保護ソリューションとして、アプリケーションの可用性を最適化し、データ損失を最小限に抑えることが可能です。

### アプリケーションの可用性の向上

ストレージスナップショットの使用により、バックアップの効率性と信頼性を向上できます。

### より優れたバックアップの迅速な作成

仮想マシン (VM) のパフォーマンスに影響を及ぼすことなく高速かつ効率的にバックアップを作成し、**HPE ストレージ** リソースをより有効活用することで、データの復元可能性を高めてリスクを低減できます。

### 投資収益率 (ROI) の向上

管理の簡素化、バックアップ保持コストの削減、およびダウンタイムの減少により、仮想化に対する投資の価値を向上できます。

## データの可用性やバックアップはITだけの問題ではなく重要なビジネス上の課題

今日の組織において、データを保護することは、ビジネスパフォーマンス、信頼性、および耐障害性を維持するうえで欠かせない作業です。Forester 社レポート「**継続的な IT 課題：24 時間 365 日の可用性の実現**」では、ミッションクリティカルおよびビジネスクリティカルなワークロードの増加と、常時可用性に対するニーズの高まりが指摘されています。新たなビジネス時代のアーキテクトは New Style of IT の実現を求められており、ビジネスの成功に IT が果たす役割は大きくなる一方です。多くの CIO やストレージ管理者が、この新たなアーキテクチャーに合わせて、バックアップ/リカバリプロセスを進化させる必要性を認識し始めています。今日、多くの IT 部門で既に進行中のトランスフォーメーションは、さまざまな側面から、従来のバックアップアーキテクチャーの負荷を増大させています。

データの増加は以前からの深刻な課題ですが、バックアッププロセスに負荷をかけているのはそれだけではありません。インフラストラクチャ上に膨大なデータが存在すると、システムのパフォーマンスが低下し、ハードウェアやリソース関連の支出が増加し、サービスレベル契約 (SLA) を満たすのが難しくなっていきます。障害発生時にもサービスレベルを維持する必要があるのは、ミッドレンジ、ハイエンド、あるいは**オールフラッシュストレージ**のいずれを使用している場合も同じです。今日では小規模な企業からグローバルなサービスプロバイダーに至るまで、あらゆる組織が Tier-1 レベルのストレージ可用性を求められています。

厳しさを増すサービスレベルを達成するうえで、プライマリストレージとバックアップソフトウェアの連携は大きなメリットをもたらします。先進的なバックアップソフトウェアは、プライマリストレージとセカンダリストレージ間のギャップを解消でき、サイロ化された複数のソリューションで構成される従来の環境とは異なり、ソリューション全体が協調的に動作することで、より包括的なデータ保護戦略の推進、ならびにミッションクリティカルなアプリケーションに適した高水準の可用性の実現を可能にします。今日では多くの IT 部門で、従来のバックアップアーキテクチャーの負荷が増しており、ビジネスニーズへの対応が難しくなっています。

データセンターのモダナイゼーションに関してとりわけ期待の大きい 2 つのメリットが、高速リカバリ (回答者の 59%) とデータ損失の回避 (同 57%) です。またモダナイゼーションの進行を阻害する要因として、多くの CIO がコストとスキルの不足を挙げています。

- Forester 社レポート「**継続的な IT 課題：24 時間 365 日の可用性の実現**」

## 24時間365日の可用性を実現する方法

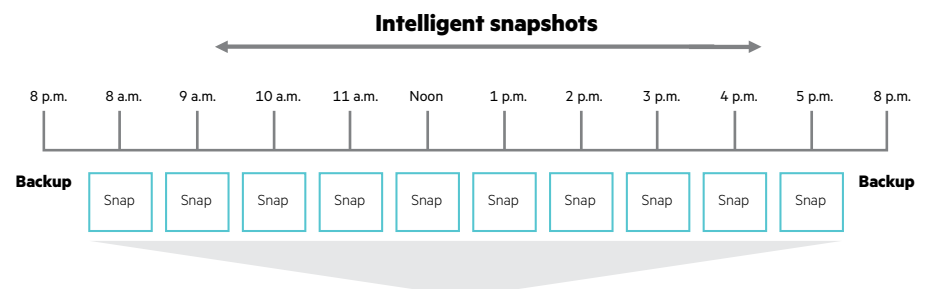
データセンター内で仮想化やクラウド /IT-as-a-Service (ITaaS) の利用が進むなか、不測の事態が発生したような場合にも、予測された IT サービスレベルを維持する必要性が高まっています。同時に、データアクセスに問題が生じた場合に、生産性ひいてはビジネスに多大な影響が生じるケースも増えています。データ可用性はプライマリストレージから始まります。したがって、最適化による高可用性と Tier-1 レベルの耐障害性を実現するためには、今日のミッションクリティカルなアプリケーション向けに設計された先進的な Tier-1 ストレージアーキテクチャーが欠かせません。さらにバックアップ/リカバリ用にストレージスナップショットを使用することで、より高水準のアプリケーション可用性と復旧ポイント目標 (RPO) を実現し、その結果として SLA の達成率も向上できます。

### プライマリストレージとデータ可用性ソフトウェアの統合がもたらす主なメリット

- 管理の簡素化
- バックアップパフォーマンスの向上
- リカバリ機能の拡張と簡素化
- コストの削減

**HPE 3PAR StoreServ** と Veeam Backup & Replication の統合は、ダウンタイムに伴う一般的なコストの削減に役立つだけでなく、データ損失量を最小限に抑えることも可能にします。企業にとって「ミッションクリティカル」と位置付けられるアプリケーションが増加するなか、事業継続性を維持するためには 24 時間 365 日の可用性が欠かせません。

HPE 3PAR StoreServ と Veeam Backup & Replication という強力な組み合わせは、従来のデータ保護アプローチにおける一般的な制約事項の克服を可能にします。プライマリストレージとデータ可用性ソフトウェアの連携は、管理の簡素化、バックアップパフォーマンスの向上、リカバリ機能の拡張と簡素化、コストの削減など、数多くのメリットをもたらします。



### HPEとVeeamソリューションの利点

1. ほぼ永続的なデータ保護 = より良好なSLA
2. さらに頻度の高いリカバリポイント = データ損失の減少
3. リカバリ時間の改善 = ダウンタイムの短縮
4. アイテムレベルでのリカバリが可能 = 工数を最小限に抑えて、より長い時間を他の問題に

### データ損失を最小限に抑えて高速リカバリを実現

大多数の組織ではバックアップを 1 日 1 回実行しています。そのため営業時間の終わり頃に障害が発生した場合には、復旧ポイントが前回作成されてから長時間が経過しています。こうした従来型のアプローチではデータ損失の可能性が非常に高く、今日の組織のニーズを満たすことができません。24 時間 365 日の可用性アプローチを導入すると、夜間バックアップから次の夜間バックアップまでの間に頻繁に生成されるストレージスナップショットを使用することで、データ損失を抑制するとともに、VM、ファイル、およびアプリケーションのリカバリ時間も短縮できます。

ハードウェアのスナップショットをベースに毎時作成される復旧ポイントを保持可能な階層化機能と、HPE StoreOnce への日次バックアップの組み合わせは、さまざまなメリットをもたらします。例えば、ストレージオーバーヘッドの低減によりコストが削減されるほか、復元に必要な時間も短縮されます。このソリューションは、インスタント VM リカバリ (IVMR)、「On-Demand Sandbox for Storage Snapshots」、SureBackup などの高度な Veeam 機能に最適です。

### 無停止バックアップの実現

**HPE 3PAR StoreServ** と Veeam ソフトウェアの統合は、バックアップ処理をストレージにオフロードしてアプリケーション整合性のある VM スナップショットを作成することで、VM への影響を軽減しながらアプリケーションの可用性を高めることを可能にします。このような手法で VM、アプリケーション、および個々のアイテムのインスタントリカバリに必要な復旧ポイントを頻繁に作成することで、本稼働環境に一切影響を及ぼすことなく、RPO を大幅に改善できます。またスナップショットのオーケストレーション機能により、スナップショットのみの Veeam バックアップジョブはワンクリックで作成できます。さらに HPE 3PAR StoreServ と Veeam ソフトウェアの統合により、スナップショットを使用して外部のディスクベースのシステムに VM を無停止でバックアップできるようになるため、バックアップの実行時間も短縮されます。

### バックアップの高速化とストレージ稼働率の向上

**効率的かつ高速でシンプルなバックアップ/リカバリ**

HPE と Veeam 社の連携により実現したソリューションは、以下のようなメリットにより、常時可用性を支える高速リカバリを可能にします。

**効率的**

- VM やアプリケーションの可用性に影響を及ぼすことなく RPO を達成可能
- IT リソースの効率性と能力を向上
- ビジネスニーズに応じたデータ保護ソリューションの拡張が容易

**高速**

- リカバリ時間を数時間から数分に短縮
- VM、ファイル、およびアプリケーションアイテムを HPE ストレージスナップショットから即座に復元可能
- 変更ブロックトラッキングの使用によりストレージスナップショットからのバックアップ速度を 20 倍向上

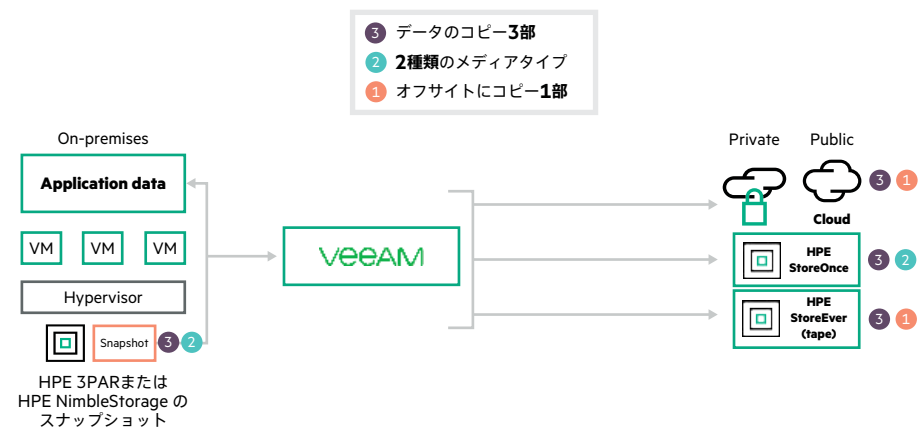
**シンプル**

- Veeam Explorer for Storage Snapshots を使用してファイルを参照、クリック、および復元可能
- 単一の管理インターフェイス上で仮想インフラストラクチャ全体を保護および復元可能
- 構成が容易（追加のモジュールやエージェントが不要）

Veeam ソフトウェアと StoreOnce もシームレスに統合されて、バックアップパフォーマンスとアプリケーション可用性のさらなる向上を可能にします。HPE StoreOnce Catalyst を搭載した **HPE StoreOnce** システムは、ごく小規模なリモートサイトから非常に大規模なエンタープライズに至るまで、幅広い IT 環境にディスクベースのバックアップを提供可能な唯一の連携型重複排除ソリューションです。このソリューションにより、データ損失リスクの低減、データ保護コストの削減、さらには管理負担の軽減が可能になり、また重複排除された状態のバックアップデータを組織内で自由に移動できるようになることで、ディザスタリカバリが容易になり、ネットワーク帯域幅コストも削減されます。さらに HPE 3PAR StoreServ Peer Persistence との統合により、バックアップオーバーヘッドも大幅に軽減されて、本稼働アプリケーションがバックアップ処理の影響を受けることがなくなります。

バックアップデータの保管に必要なスペースを 95% 削減可能なこのソリューションは、大規模オフィスやデータセンター向けの強力な専用アプライアンスの形で導入することも、小規模なオフィスやリモートオフィス向けのフレキシブルな仮想アプライアンスの形で導入することも可能です。業界トップレベルを誇る HPE StoreOnce のバックアップ/復元速度は、バックアップ時間の短縮やリカバリ SLA の達成に大きなメリットをもたらします。

**3-2-1ルールに則ったHPEとVeeamソリューション**



**詳細情報**

[www.hpe.com/jp/3par](http://www.hpe.com/jp/3par)

[www.hpe.com/jp/storeonce](http://www.hpe.com/jp/storeonce)

[www.hpe.com/jp/ja/storage/data-protection-solutions.html](http://www.hpe.com/jp/ja/storage/data-protection-solutions.html)

**メールニュース配信登録**